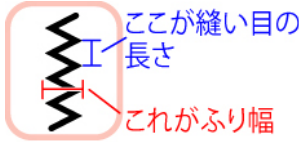





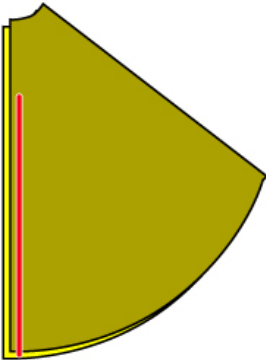
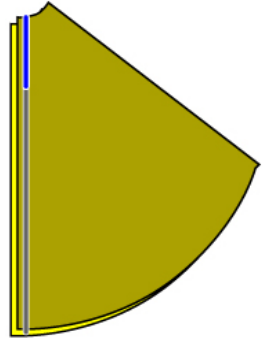

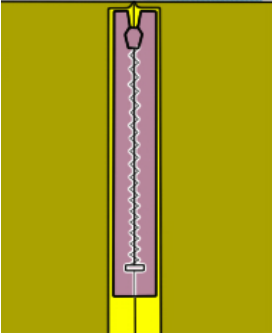
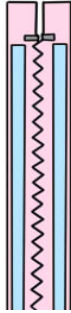
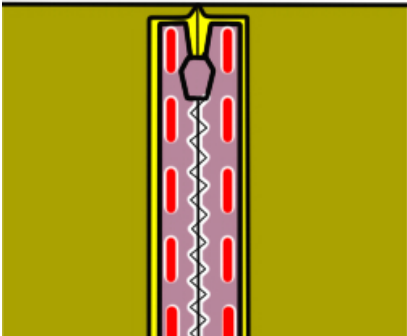


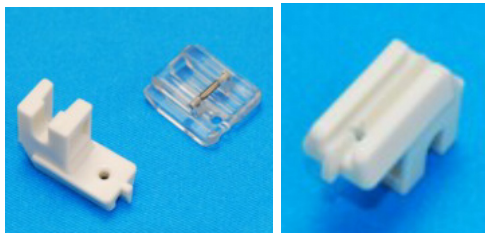
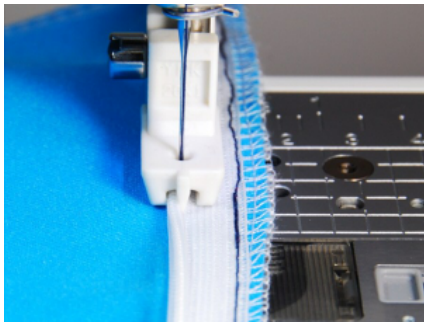
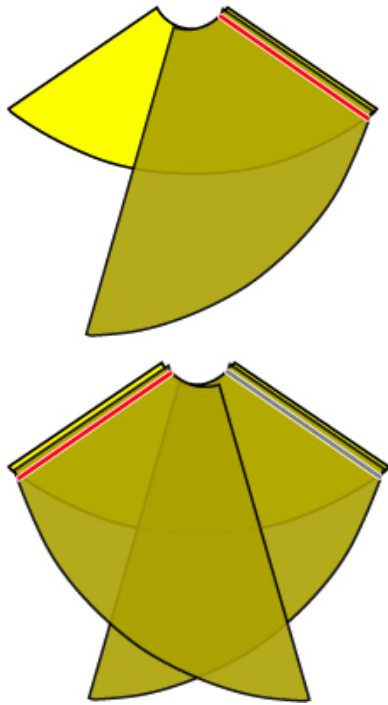


	<p>すそのカーブの所ほつれ止め液を布を切る前に塗って、乾いてから切るとほつれず綺麗に仕上がりますよ。 特に薄い生地はそのままジグザグをするとシワが入ったりしやすいので、ほつれ止め液を塗ると乾いたときに張りが出るのでその上をジグザグをかけると綺麗に縫いやすくなります</p>
	 <p>大きいままだと縫いにくいのですそれは実際より少し外側を切ってから細かいジグザグをかけます。</p> <p>ミシンのジグザグは横幅3～4mm位 縫い目の長さ 0.3～0.4位で縫ってください。</p>
 <p>布の印のつけ方や 接着芯の貼り方は 縫う前の下準備で 詳しく説明しているよ まだ見たことがない 人は先に見てね!</p> <p>→ 縫う前の下準備</p>	 <p>ウエストベルトの裏に接着芯を貼ってください。</p> <p> 表  裏  接着芯</p> <p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。</p>
	<p>後スカートのパーツを2枚を表側が内側になる用に重ねてください。 ファスナーが付くほうの辺を先に縫ってください。</p> <p>ファスナーが付くので「あきどまり」と指示のあるところまで縫ってください。</p>
	 <p>ファスナーを付ける位置を大きな縫い目で縫います ここを縫わないと慣れてない人はこのように「あきどまり」にズレが出やすくなります</p>

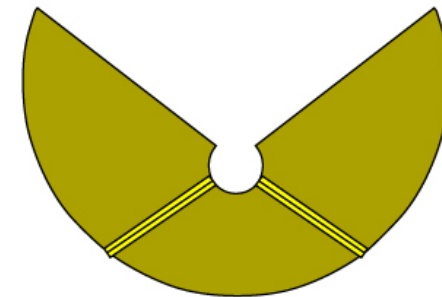
	<p>縫い目の長さを2~3mmに戻してください。 アイロンで縫い代を左右に折ってください。 お裁縫用語で割るといいます</p>
	 <p>あれば熱接着の両面テープをファスナーの表面に貼ってください。 裏を上にして生地を置いてください。 熱接着の両面テープのはくり紙をはがしてください。 縫い代の上に、裏を上にしたファスナーを置く。 アイロンで固定してください。</p>
	<p>熱接着の両面テープが無い場合 なければ手縫いで2cmくらいの大きい縫い目でしつけ糸でファスナーと、縫い代だけを開きどまりの所まで大雑把に縫ってください。</p>
	 <p>糸きりハサミやリッパーで2番目に縫ったファスナーをつける部分の糸をほどいてください。</p>
 <p>コンシールファスナー押さえはこのように裏側に溝が入っている押さえ金です。</p>	<p>ミシンの押さえをコンシールファスナー押さえに替えてください。 このコンシールファスナー押さえは一般的な家庭用ミシンであれば数百円で購入ができます。 最近では付属のミシンものもあります。 お洋服を作る人は1つ持っておくと便利です。 押さえ金はメーカーによって若干サイズが異なるので、メーカーの部品を選ぶといいです。</p>



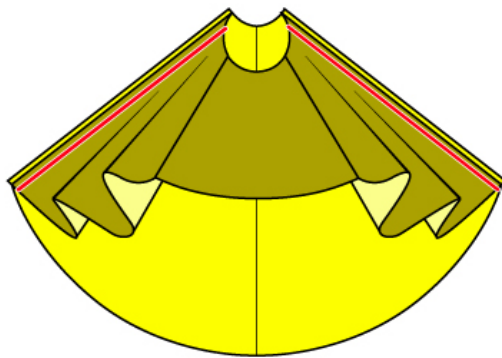
この溝にファスナーのムシ（レール部分）を入れて縫うと、ファスナーのムシのそばギリギリを縫うことができます
そして開きどまりまで縫ってください。



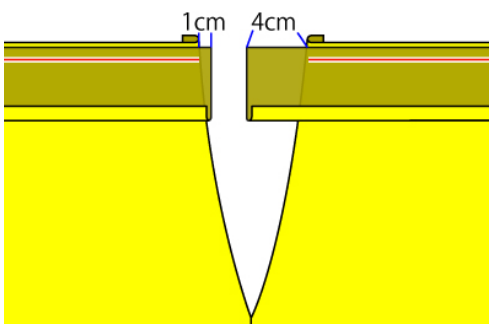
前スカートに脇パーツを縫ってください。



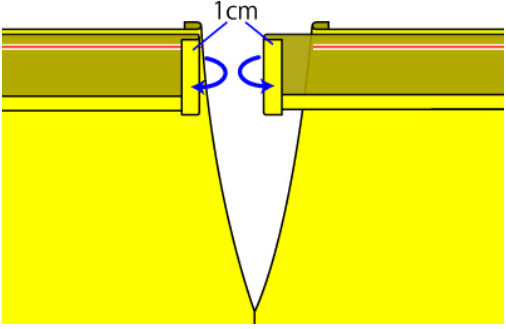
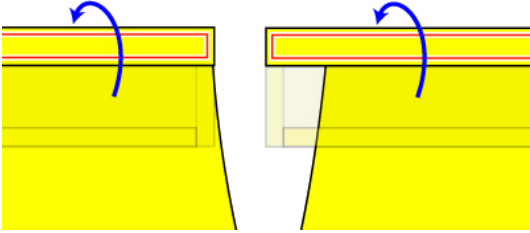
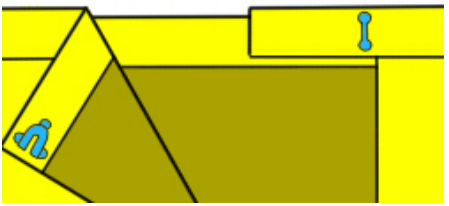
縫い代を左右に広げてください。



脇と後中心を表が内側になるように重ねて縫ってください。



スカートの表側にベルトの裏を上にして重ねてください。
前身頃側はベルトの端を1cm（縫い代分）後ろ身頃側はカギホックをつけるための重なり分があるので4cmはみ出すように重ねて縫ってください。

	<p>ベルトの両端 1 c m を裏へ折ってください。</p>
	<p>ベルトを裏へ折ってください。 端から 0.5 c m のところ縫ってベルトを固定してください。</p>
	<p>糸を 4 0 c m 前後に切って取れないように手縫いで縫い付けてください。</p>

ロングテールスカートの型紙

スカートのボリュームは半円とか全円とかではなく、下にはくパニエに左右されます。

半円 (180度) から全円 (360度) → それ以上 (520度) 等

弧が大きくなればなるほど **ヒダが増える** と思ってください。

ただしヨーローっぱのお姫様のような腰から大きく広がったおわんをひっくり返したようなデザインだと半円だとボリュームが足りないのでご注意ください。

いるもの

- 表生地
- 接着芯 10 c m ほど
- コンシールファスナー 20 c m 位
- コンシールファスナー押さえ
- 生地にあった色の糸

おすすめの生地

柔らかい薄手の生地

ポリエステルサテン シワになりにくい光沢のある生地。華やかにしたいときに。

ポリエステルアムンゼン 光沢のない軽く柔らかい生地 落ち着いた感じにしたいときに

ポリエステルツイル ツイルというのは織りかたの名前なので、繊維の太さ等によって柔らかいものとかたいものがあります。

サンプル取り寄せがオススメですこのデザインには柔らかいものがオススメです